

北海道大学病院小児科に、過去に通院された患者さんまたはご家族の方へ
(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」(平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号)の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 先天性心疾患周術期に合併する接合部頻拍のリスク因子調査と各治療法の効果に関する研究

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 院長 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 北海道大学病院 小児科 助教 武田 充人

[研究の目的] 先天性心疾患周術期に合併する接合部頻拍発症予防と治療法の確立に役立てるため。

[研究の方法]

○対象となる患者さん

先天性心疾患の患者さんで、2013 年 1 月 1 日から 2020 年 12 月 31 日の間に、先天性心疾患手術履歴のある方

○利用するカルテ情報

- ① 対象者基本情報：手術時年齢、性別、手術時体重、診断名、背景疾患（内臓錯位症候群、21 トリソミーなど）
- ② 手術関連情報：STAT score(The Society of Thoracic Surgeons-European Association for Cardio-Thoracic Surgery)(術式毎の死亡リスク分類)、体外循環時間、大動脈遮断時間、術後強心剤（エピネフリン、ノルアドレナリン、ドパミン、ドブタミン、オルプリノン）使用有無および使用量、接合部頻拍の発症予防効果が報告されている鎮静薬としてデクスメデトミジン使用有無および使用量
- ③ 血液学的検査結果：術後血清乳酸値（最大値あるいは接合部頻拍発症時点の値）
- ④ 接合部頻拍への治療法：一次治療（電解質補正、強心剤減量、身体冷却）、二次治療（一時的オーバードライブペーシング治療、抗不整脈薬種類・用量）、三次治療（開胸処置、人工心肺治療）の選択状況

[研究実施期間] 実施許可日～2022年3月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院小児科 担当医師 武田 充人

電話 011-706-5954 FAX 011-706-7982